



問 石丸山公園の整備充実について問う

答 地域にとって真に必要な公園として住民とともに改善に取り組む

問 石丸山公園が町民にはたしている役割をどう認識されているか。

町長 石丸山公園は、先人が築いた農耕文化遺産をできる限り自然のままに整備保存し、そこに棲む魚、野鳥、昆虫、水辺の植物等を保護しながら人と生物がふれあえる自然観察園として活用するとともに、町民の憩いの場として利用するために、平成7年1月に建設されたものである。先人が築いた農耕遺産である掘割を自然のままに整備保存することについては一定の役割を担っていると思う。平成18年には、子どもたちを対象に堀と自然を守ることの大切さを体験的に理解してもらう取組を実

施している。もう一つの目的

である、住民のふれあいや憩いの場としての利用については、十分な活用に至っていないのが現状ではないかと認識している。現在、各小学校の遠足、施設入所者等の花見など、団体の利用はあるものの、一般の町民の皆さんの利用頻度は少ないのではないかと思っている。

石丸山公園の特徴である、先人が築いた掘割を保存することをとおして、多くの人々に堀と自然を守ることの大切さを身近に感じ取っていただける公園であってほしいと思うと同時に、住民生活に潤いと安らぎを与える公園でなければならぬと考えており、一人でも多くの方に利用されるような公園整

備に努めていきたいと考えて

るが、行政だけでできるものではないと考えている。今年の春には、大角4区・前牟田区の皆さんが、力を合わせ自発的に石丸山公園桜まつりを計画されている。このように、地域の皆さんが自分たちの手で、石丸山公園を活性化させる活動を計画していただいているが、このような地域の力を支援していきたい。地域にとって真に必要な公園は何かを、住民の皆さんと一緒に協議検討しながら、改善に取り組んでいきたい。

問 石丸山公園を幼児や児童など通常どれくらいの人が利用されているか。

年度	小学校	保育園	年度	一般 (内子ども)
H17	7校	3園	H17	13,886人 (約60%)
H18	4校	1園	H18	14,046人 (約60%)
H19.4 ~H20.2	4校	1園	H19	11,110人 (約60%)

公園利用状況

問 駅の傍にありながら、なぜ、利用者が少ないのか、二度、三度来るような公園を目指してほしい。

建設課長 休みの日などは多くの人が訪れられている。三瀧町の2000年記念の森公園は、敷地面積が広く、子どもが遊ぶ遊具も多く、ボール遊びができる広場、小さい山がある公園ですが、石丸山公園は一般の児童遊園地と言う概念で造られたものではなく、クリークを中心を整備されており、遊具についても最小限の設置になっている。自然を大事にするクリーク公園として整備されて、周囲とほぼ中央に自然のまま

のクリークが残されており、自然をゆっくり観察し過ごし、憩いの場として利用していただきたいと思っている。児童遊園地という概念で造られたものではないため、遊具の設置場所や遊具数も限定されたものになっている。それぞれの公園が設置目的である特色を生かしながら、多くの方から利用してもらう公園として、なにかあるのか、要望等も参考にしながら検討していきたい。

問 石丸山公園を整備の強化するためには、近隣の公園を調査し参考にして、検討し精査してほしい。

建設課長 他の公園の利用状況など調査したいと思うが、当公園のコンセプトもあつた他の公園と単純に比較はできないと思う。また当初整備していた遊具等について一部破損等や安全性を考慮し撤去しているものもあるので、再設置などについて検討していきたい。